

JR連合 政策News

第254号

2014年4月22日

「議員フォーラム」議員秘書との意見交換会を開催

当面する政策・組織課題で活発な議論を展開

JR連合は、4月21日、都内で「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属議員の政策秘書との意見交換会を開催した。意見交換会には40名を超える秘書、JR連合執行部、単組役員ら約60名が出席し、当面する政策・組織課題について活発な議論を行った。

冒頭、JR連合を代表して松岡会長は、「JR連合の抱える政策・組織課題の解決に向けて、秘書の皆さんとベクトルを合わせた取り組みが重要になる。より一層のご理解とご協力をお願いしたい」と要請した。続いてJR連合松尾政策委員長は「次年度予算概算、税制改正要望については、国土交通省鉄道局とも折衝を行ってきた。更なる取り組みの前進にむけて議員秘書の皆さんとの連携を強化していきたい」と挨拶した。

続いて、栃窪組織部長から「JR連合の抱える組織課題」、尾形政策部長から「2014交通重点政策」について提起した。交通重点政策では、防災対策の強化、鉄道インフラ基盤強化、JR三島会社・JR貨物の経営安定化等について詳細な説明を行うとともに、各単組が抱える諸課題も含めて秘書と活発な意見交換を行った。

JR連合は、喫緊の重要課題が山積する政策や組織課題の解決にむけて、21世紀の鉄道を考える議員フォーラム所属議員、秘書と一丸となった取り組みを引き続き展開していく。



以上